

会議報告



国際公会計基準審議会 (IPSASB) 会議報告

2023年10月会議

IPSASBボードメンバー
早稲田大学大学院政治学研究科教授

こばやし まり
小林 麻理

IPSASBテクニカル・アドバイザー
公認会計士

ふぎや たけお
落谷 竹生

1 はじめに

国際公会計基準審議会(IPSASB)は、2023年10月26日に、オンラインの会議を開催した。ボードメンバー18名中、16名が参加した。

今回の会議は、サステナビリティ報告の専門家を招き、主にサステナビリティ報告基準における重要性の概念と適用実務に関する教育セッション(質疑応答を含む研修)が行われた。したがって、今回の会議で承認された文書はない。

2 重要性に関する基礎知識

(1) 欧州財務報告諮問グループ(EFRAG) サステナビリティ報告テクニカル・エキスパート・グループ議長 Chiara del Prete氏

欧州サステナビリティ報告基準(ESRS)はダブルマテリアリティを採用している。その考え方と、重要性に関するガイダンスの解説を行った。情報の重要性評価の対象には、投資家だけでなく、他のステークホルダーに対するアカウンタビリティが含まれる。財務情報は投資家と他の関係者の双方が(環境・社会的な)インパクトを検討する際に役立つので、評価に当たって投資家と他のステークホルダーを分けるべきではない。財務情報はインパクトの

理解に役立ち、インパクトの理解によって財務情報も向上する双方向の関係がある。

(2) グローバル・レポーティング・イニシアティブ(GRI) 基準書開発責任者 Bastian Buck氏、及びGRI 調査リーダー Miguel Perez Ludena氏

GRI基準もダブルマテリアリティを採用している。GRI基準の構成と主要な考え方の解説を行った。ダブルマテリアリティにおけるインパクトとは何か、GRIがインパクトに注目した経緯、並びに重要なトピックスの決定手順が説明された。インパクトを、リスクや機会とともにユーザに示すことによって、ユーザは全体像を把握できる。GRIは現在、インパクト、リスク、機会の関係性について追加のガイダンスを開発中である。

(3) 国際サステナビリティ報告基準審議会(ISSB) 戦略リーダー Samuel Prestidge氏

IFRSのサステナビリティ報告基準はシングルマテリアリティを採用している。当該基準における重要性(マテリアリティ)の概念、リスクと機会の識別、重要な情報について解説を行った。ISSBでは財務報告とサステナビリティ報告の重要性を整合させており、資本市場における投資家に焦点を当てている。ISSBとEFRAGは、財務上の重要性の定義については足並みをそろえている。重要性評価の手順に関するガイダンスの整合性を向上させるために、ISSBはEFRAGと共同で追加のガイダンスを開発中である。

3 重要性の実務上の取扱い

(1) PwCオーストリア・元IPSASBボードメンバー Bernard Schatz氏

PwCオーストリアにおけるサステナビリティ関連業務の実務経験と、公的部門におけるGRI基準やESRSの適用実務について解説を行った。GRIとESRSの2つの基準の類似点と相違点、及び実務における重要性評価の枠組みの説明があった。ダブルマテリアリティを構成するインパクトと財務上の重要性は相互補完的なものであり、双方の視点を持つことはとても有用である。また、GRIやEFRAGなどの基準設定主体が協働することによって、報告書作成者の負担が緩和されている。

(2) EYカナダ・元トロント市CFO Heather Taylor氏

トロント市におけるサステナビリティ報告の導入経験について解説を行った。トロント市が財務、サービス、社会的な観点から重要性に取り組んだ方法と、政治的な影響を受けないように留意したことなどの説明があった。基準書は主体が重要な情報を評価する際に役立つが、基準書が不明確で一貫性がない場合には、利用者が報告を遅らせるか報告せず、その言い訳に使われるお

それがあることに留意が必要である。

(3) コペンハーゲン・ビジネス・スクール准教授 Caroline Aggestam Pontoppidon氏

同氏の勤務する大学は、ESRSを任意採用しているデンマークの地方自治体に属しており、同氏の授業にはケーススタディが組み込まれている。ケーススタディの目的は、公的部門の主体が情報の重要性を評価する方法を策定し、提案することである。参考として、他の国・地域や民間部門の開示における追加の枠組みについても説明があった。

4 会計教育に関する国際会計士連盟(IFAC)パネル:サステナビリティ報告プロジェクト

IFAC 会計教育に関する国際パネル議長 Anne-Marie Vitale氏

IFACは最近、サステナビリティ関連報告及び関連する保証サービスの業務に従事する会計専門職に必要な専門能力を検討するプロジェクトを立ち上げた。同氏は、当該パネルの作業計画についてIPSASBのメンバーに公的部門の視点に基づく意見を求めた。